

第2回ワークショップの結果概要

1 6つの視点について

1) 地域別実行計画の考え方や検討の進め方

- 視点①の「地域の活性化」では、イベントなどによる一過性の活性化ではなく、未永くこの地域が生活の場として続いていく基盤づくりが必要だ。
- 視点②では「現状不足している医療、買い物などの機能を新たに取り入れることも考慮する」と課題解決の方向性に記載されているが、それが用途別の方針に反映されているようには見えない。これ以外も含めて、課題解決の方向性で挙げられた事柄は、再編方針案の今後の方向性や具体的取組みの中に入れてほしい。
- バスや電車の本数が少なく商店もない地域では、高齢化が進む中で今後どうやって定住を促していくかが課題だ。視点③の「利便性の確保」に交通の利便性に関することを加えてほしい。細入の住民は中心市街地まで行かずに大沢野で用事を済ますことも多いので、大沢野との間の交通の利便性確保が重要だと思う。
- 視点④「安全性の確保」について、適正な避難所の設置を進める方向性として、「中山間地域という立地特性を踏まえることや、災害の種類による避難場所への配慮が必要」という点を盛り込んでほしい。
- 視点⑤「利用しやすさ・運営の工夫」の課題として、「利用を促進するPRが足りていない」ことがあるのではないかな。
- 視点⑤の課題解決の方向性に「積極的に利用するなど、地域の人を維持するための努力を行う」とあるが、積極的に使う努力をし続けていると疲弊してしまうので、努力をしなくても自然に使われるようにすることが大切ではないか。送迎サービスを行うなどの工夫をして、無理なく継続して利用できるようにする必要がある。
- 細入などの上流域の中山間部に人が住まなくなると山が荒れ、下流域にある市の中心部の自然環境にも影響を及ぼすことになるのではないかな。経済

効果で見ると中山間部は劣っているかもしれないが、そこに人が住むことは市全体にとって価値があることだと思う。地域住民が暮らし続けられる持続可能な地域社会、コミュニティになるかという視点も加えたい。

1) 集会施設

- 細入地域は南北に長いことや、中山間地域という立地特性を踏まえると、たとえ将来的に人口が減ったとしても集会施設を 1 つに集約することは難しい。集会施設は災害時の避難所でもあるので、南北それぞれの地区に必要な。
- 方向性案には「防災上の必要となる避難施設の適正配置を検討する」とあるのに、将来的には集会施設を 1 カ所に集約するというのは矛盾しているのではないかと。各地区に川があるので、橋が通れなくなる可能性を考えれば、避難所が3カ所にあるのが望ましい。

■ 細入北部地区コミュニティセンター

- 北部地区コミュニティセンターは自治会の会合や行事で利用している。
- 中長期の方針に異論はないが、廃止や譲渡を検討する前に短期的な取り組みとして利用率を上げることを考える必要があると思う。利用規則の変更や、制約の軽減などによって気軽に使えるようにしたり、積極的な PR をするべきだ。
- 地元に譲渡されても、現状のような制約があると自由な運営ができないので問題だ。地域で検討した使い方の提案やルールを尊重してもらえば、地元に譲渡してもらって運営することを視野に入れても良いと思う。
- 廃止や民間への譲渡だけでなく、これを機に、指定管理などによる新たな活用方法を検討した方がよい。国道沿いに立地した風情ある古民家なので、ライダーハウスや B&B などの宿泊施設にすると賑わいが出て、海外の人にも評判になると思う。
- 朝日町では、地域おこしなどを学生と一緒に考えるインターンシッププログラムを行っている。細入地域でも北部地区コミュニティセンターを拠点に、同様の取り組みをしたらどうか。

2) 図書館・博物館等

- 民間活力の導入と一口に言っても、いろいろなやり方があるので、もう少し具体的に説明してほしい。

■ 猪谷関所館

- 関所館の企画内容は充実しており、PRも努力していると思うが、利用率を上げるにはさらにPRを工夫する必要があるのではないか。高山などが海外の観光客に人気になっているので、海外の観光客向けの対応やPRも必要だと思う。
- 貴重な施設なのに場所がわかりにくいことが問題だと思うので、短期的な取組みとして、国道沿いに看板を立てるなどの場所の周知を行うべきだ。
- 関所館はもともと関所があった場所にあるわけではないので、現在の場所にこだわらずに国道からのアクセスの良い南部公民館周辺に移転したり、南部公民館に複合化することを検討してはどうか。その方が利用率が上がると思う。

■ 細入図書館

- 細入図書館は一般利用のためだけでなく、小、中学校の図書館でもある。学校の図書館機能があるのだから、施設機能は維持されるべきだろう。

3) 図書館・博物館等

■ 猪谷プール

- 楡原プールの地域利用ができなくなったことや、お盆の帰省の際に自由に使えるプールが他にないことを考えると、猪谷プールは残してほしい。猪谷プールはまだ綺麗で修繕の必要もない。
- 楡原プールを学校が管理することになったため、一般の利用ができなくなった。それを受けて猪谷プールの利用率は上がっていると思う。これまで

とは状況が変わっているなので、楡原プールが今後一般開放されるのかも含め、もう少し時間をかけて、状況の変化を見極めてから方向性を判断した方が良い。

- 短期的な取組みとして、利用率によってはプールの開放期間を現在より短くすることを検討しても良いと思う。

4) レクリエーション・観光施設

- 「民間ノウハウを活用」と言っても、いろいろなことが考えられるので、住民と市で共通認識を持つためにも具体的な内容を説明してほしい。
- 3つの施設は地域で設立した(株)ほそいりが運営しており、現状でも十分に運営の工夫をしていると思う。「民間のノウハウを活用」という意味が、運営はこのまま地元の会社に任せ、さらなる工夫をしていくという意味であれば異論はない。
- 楽今日館のバスを天湖森や林林でも利用できるようにするなど、3つの施設を連携して使えるようにしたり、施設の価値を再発見して、これまでとは違う客層を開拓したりすることで集客を図れると良い。

5) 学校

- 小、中学校が統廃合でなくなると、若い世代の移住者を増やすことが困難になり、過疎化につながる。複式学級でも構わないので、地域の中に学校を維持したい。複式学級になることで先生方の負担が大きくなるなら、ボランティアを募ってサポートする体制を作ってはどうか。
- 学校選択制なので、家庭ごとの意思で学校を選ぶことができる。他の地域の教育環境を選ぶ人もいるが、細入の教育環境が気に入って楡原中学校に通わせたいと思う人もいるのだから、地域内の学校を存続してほしい。他地域から来ている子もいるので、呼び込む努力をする必要もあると思う。
- 人数が少ないと良くないとは一概に言えないと思う。複式学級や、少人数クラスの方が指導も丁寧になるかもしれないし、他の学年と一緒に学ぶメ

リットを感じる人もいるかもしれない。児童生徒数だけで判断する「適正」では評価できないものがあるのではないか。

- 複式学級は小学校でなら可能だと思うが、中学校は学年ごとに授業内容も違うし、学力に差が出てきたりするので難しいのではないか。
- 小中一貫校にするなど、統廃合以外の策を考えることが最優先だと思う。

6) 幼保・こども園

■ ほそいり保育所

- 大沢野の保育所に入れなかった子どもが、ほそいり保育所に入園してきている。細入の住民にも近隣地域の住民にも必要とされているので、地域内に保育所を残してほしい。
- 将来的に保育所の規模を縮小する場合は、小学校に移転してはどうか。

8) 庁舎等

- 細入中核型地区センターは、耐震性がなく危険なので、建物は早急に解体すべきだと思うが、機能は地域内に残してほしい。
- 短期的な取組みとして、中核型地区センターの機能を移転し、建物を解体する場合と、耐用年数ぎりぎりまで利用した後に解体する場合の費用対効果をシミュレーションした上で、どちらの案にするかを判断した方が良い。

■ 中核型地区センターの複合化

- 短期的な取組みとして、中核型地区センターの機能を総合福祉センターに移転するのが良いと思う。中核型地区センターを早急に移転する必要があるのだとしたら、それが現実的だ。
- 総合福祉センターに中核型地区センターが入ることを、デイサービスの民間委託業者が容認できるかを確認する必要がある。問題がなければ、建物的にも設備的にも総合福祉センターと複合化するのが良いと思う。

- 細入公民館は入口がバリアフリーになっていないので、高齢者の利便性などを考えると、中核型地区センターを複合化させるのには向かない。複合化する場合には改修の必要ある。
- 中核型地区センター移転までに、細入公民館をバリアフリーに改修できる時間の余裕があるならば、総合福祉センターはそのまま維持し、中核型地区センターを公民館に複合化するという選択肢もあると思う。
- 総合福祉センターを改修して、中核型地区センターと公民館を複合できれば、1カ所で様々な用事が済ませられ、使い勝手が向上する。現状で不足している、医療や買い物の機能も追加して複合化できると良い。
- 総合福祉センターに、中核型地区センターと細入公民館の機能を複合化する場合には、現在の細入公民館にあるホールと同規模の多目的スペースや調理室を確保してほしい。ホールや調理室がなくなると、会議やイベントの開催、ブラスバンドの活動などに支障が出る。
- 細入公民館を中核型地区センターや総合福祉センターと複合化すると、ホールや調理室が残らなかったり、これまでのような使い方ができなくなるのであれば、公民館は単独で残してほしい。

3 ワークショップの進め方について

- 地元住民といえども全ての施設の利用実態はわからないし、再編方針案の内容を十分に理解しているとも言えない中で議論をするのは難しい。施設の利用状況に関する詳細な情報や、市が今後施設をどうしていきたいかという具体的な提案を出してもらってから話し合いをした方が良い。
- 公共施設の問題の前に、人口減少などの地域課題を解決しなければならないのではないか。地域の不便さをなくしていかなければ定住には繋がらないので、施設についてだけでなく、細入地域の交通や高齢者の不便さを改善することについても話し合う必要があると思う。
- ニュースレターにはワークショップで出された個別の意見を載せるよりも、全体的な傾向をまとめて掲載する方が良いのではないか。

4 その他

- 再編の結果として施設が廃止された場合には、必ず建物を解体してほしい。